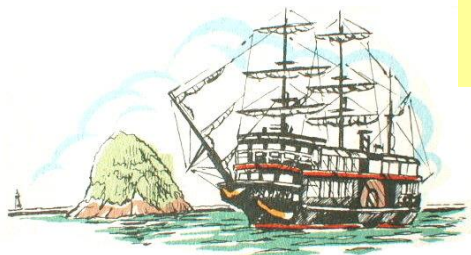


29年11月号

ハローワーク下田



あなたとチャレンジ ～地域に根ざしたハローワーク～

下田公共職業安定所
電話 0558-22-0288
FAX 0558-23-0733

11月は「労働保険適用促進強化期間」です

厚生労働省・静岡労働局・労働基準監督署・公共職業安定所では11月を「労働保険適用促進強化期間」と定め、全国的にも広報や訪問指導をはじめとする労働保険への加入促進活動を展開しています。

・労働保険は人材確保、社員の安心、そして、会社の安定のための保険であり、労働者を1名でも雇用している場合は加入が義務付けられています。

労働保険とは？ = 労災保険 + 雇用保険

「労災保険」と「雇用保険」の総称です。
労働者を1人でも雇用している事業主は、
加入することが原則の国の制度です。

業務上の災害や通勤災害に対し、
被災労働者や遺族を保護するた
めに必要な給付を行います。

労働者が失業した際の生活の
安定と再就職の促進を図るた
めの必要な給付を行います。

※詳しくは、静岡労働局、労働保険徴収課、または最寄りの労働基準監督署・ハローワークへお問い合わせください。以下の静岡労働局ホームページもご参照ください

(厚生労働省HPへリンク(制度紹介・手続き案内など))

<https://shizuoka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/roudoukyoku/soumu.html>

新任職員の紹介

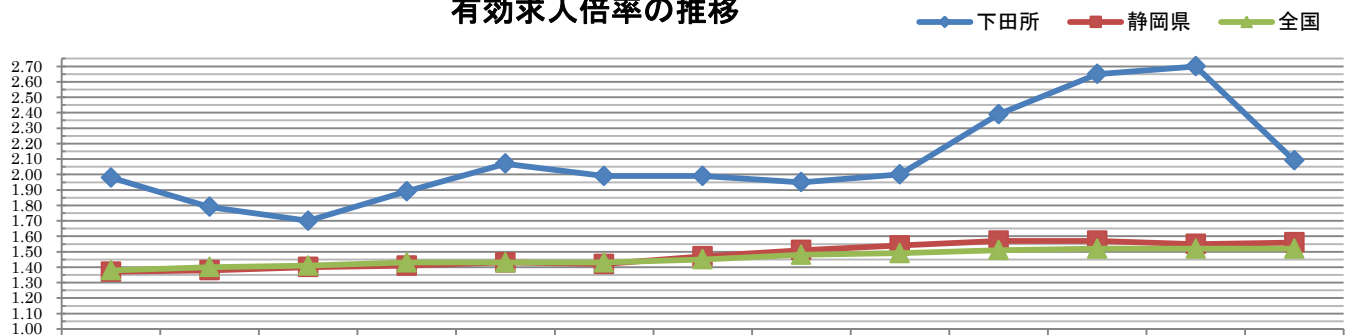
平成29年10月1日付で、以下の職員が人事異動となりました。
今後とも、旧職員同様よろしくお願ひします。

【役職】 就職促進指導官	前任	長谷 圭祐	転出先：静岡労働局 職業対策課
	後任	佐々木 岳志	前職：富士公共職業安定所
【役職】 業務係長	前任	和田 健太郎	転出先：静岡公共職業安定所
	後任	松浦 健太	前職：焼津公共職業安定所

職業紹介関係主要指標

全数 (パート含む)		平成 29 年 9 月	平成 29 年 8 月	平成 28 年 9 月	対前月比	対前年同月比
	1	新規求職申込件数	220	163	243	+35.0%
2	月間有効求職者数	754	684	774	+10.2%	▲ 2.6%
3	新規求人数	556	497	542	+11.9%	+2.6%
4	月間有効求人数	1,578	1,850	1,530	▲ 14.7%	+3.1%
5	紹介件数	214	164	243	+30.5%	▲ 11.9%
6	就職件数	89	61	87	+45.9%	+2.3%
7	充足数	93	69	77	+34.8%	+20.8%
8	新規求人倍率 (3/1)	2.53 倍	3.05 倍	2.23 倍	▲ 0.52P	+0.30P
9	有効求人倍率 (4/2)	2.09 倍	2.70 倍	1.98 倍	▲ 0.61P	+0.11P
10	就職率 (6/1×100)	40.5%	37.4%	35.8%	+3.1P	+4.7P
11	充足率 (7/3×100)	16.7%	13.9%	14.2%	+2.8P	+2.5P

有効求人倍率の推移



	H28 9月	10月	11月	12月	H29 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
下田	1.98	1.79	1.70	1.89	2.07	1.99	1.99	1.95	2.00	2.39	2.65	2.70	2.09
静岡県	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.42	1.47	1.51	1.54	1.57	1.57	1.55	1.56
全国	1.38	1.40	1.41	1.43	1.43	1.43	1.45	1.48	1.49	1.51	1.52	1.52	1.52

雇用保険関係主要指標

	平成 29 年 9 月	平成 29 年 8 月	平成 28 年 9 月	対前月比	対前年同月比
被保険者資格取得者数	117	160	125	▲ 26.9%	▲ 6.4%
被保険者資格喪失者数	163	133	138	+22.6%	+18.1%
新規適用事業所数	0	3	4	—	—
廃止事業所数	9	3	8	+200.0%	+12.5%
月末現在適用事業所数	1,116	1,125	1,131	▲ 0.8%	▲ 1.3%
月末現在被保険者数	10,487	10,533	10,205	▲ 0.4%	+2.8%
受給資格決定件数	50	41	46	+22.0%	+8.7%
受給者実人員	180	192	189	▲ 6.3%	▲ 4.8%

労働市場の概況 (学卒除き、パートタイムを含む)

1. 求人倍率

9月の有効求人倍率は2.09倍となり、前年同月を0.11ポイント上回った。
新規求人倍率は2.53倍となり、前年同月を0.3ポイント上回った。

2. 求職の状況

新規求職申込件数は220人で、対前年同月比▲9.5%と6か月連続で減少した。これを一般・パート別に前年同月と比較すると、一般は125人で16.1%の減少、パートは95人で1.1%の増加となった。
月間有効求職者数は754人で、対前年同月比2.6%減少した。

3. 求人の状況

新規求人数は556人で、対前年同月比+2.6%と2ヶ月連続で増加した。これを一般・パート別に前年同月と比較すると、一般は270人で35.7%の増加、パートは286人で16.6%の減少となった。月間有効求人数は1,578人で、対前年同月比3.1%増加した。
新規求人数の対前年同月比を産業別にみると、医療・福祉業が102.9%、卸売・小売業が37.3%といずれも増加した一方、宿泊・飲食サービス業が2.5%減少した。

4. 就職の状況

就職件数は89件で、対前年同月比+2.3%と2か月ぶりに増加した。就職率は40.5%で前年同月を4.7ポイント上回った。これを一般・パート別に前年同月と比較すると、一般の就職件数は51件で27.5%の増加、就職率は40.8%で14.0ポイント上回った。また、パートの就職件数は38件で19.1%の減少、就職率は40.0%で10.0ポイント下回った。
なお、常用就職件数は84件で、対前年同月比2.4%増加した。

5. 保険の状況

雇用保険業務統計の動きからみると、資格喪失者数は163人で前年同月比18.1%増、うち事業主都合による解雇者は5人と対前年同月比で80.0%の減少となり、解雇者の占める割合は前年同月より15.0ポイント下回る3.1%となった。
雇用保険受給者実人員は180人となり、対前年同月比4.8%減少した。